

令和5年度第1回さぬき市障害者計画等策定委員会 会議要旨（要約）

- 1 日 時 令和5年10月13日（金） 10:00～11:30
- 2 場 所 さぬき市寒川庁舎3階 301・302会議室
- 3 出席者 [委 員] 岡村委員 山下委員 竹内委員 和泉委員
六車委員 日野委員 水ト委員 岡委員
眞子委員 植村委員 川田委員 立花委員
[事務局] 白井部長 浅川課長 濱崎課長補佐 濱垣副主幹
山津社会福祉士 株式会社 ぎょうせい 2名
[傍 聴] 0名
- 4 議 題 1. 計画策定スケジュールについて
2. 事業所アンケート報告について
3. その他
- 5 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意見概要
(事務局)	<p>ただ今から、さぬき市障害者計画等策定委員会を開催いたします。</p> <p>本日の委員会は、さぬき市情報公開条例に基づき、傍聴席を設けております。</p> <p>議長が決まるまで事務局の方で議事を進めさせていただきます。</p> <p>まず、お手元に配布している資料の中で、さぬき市障害者計画等策定委員会設置要綱をご覧ください。当委員会の運営は、この要綱に基づいて行いますので、一度お目を通していただきますようお願いいたします。</p> <p>続きまして、委嘱状の交付を行います。</p> <p>(委嘱状交付)</p> <p>以上で委嘱状の交付を終わります。</p> <p>続きまして、健康福祉部白井部長よりご挨拶申し上げます。</p> <p>(部長あいさつ)</p>
(事務局)	<p>本日のご出席の委員の皆さまは、15名中、12名のご出席を頂いており、要綱第6条第2項の「会議の成立」の規定を満たしておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>委員長・副委員長の選任につきましては、要綱第5条第2項の規定により、委員の互選によることになっております。</p> <p>では、委員の皆さんにおかれましては、委員長・副委員長の選任をお願いしたいと存じますが、どなたかご推薦等ございましたでしょうか。</p>
(委 員)	<p>事務局案でお願いします。</p>

(事務局)	事務局案でという声がありましたが、よろしいでしょうか。
(委員)	「意義なし」の声
(事務局)	それでは、委員長に六車委員、副委員長に岡村委員にお願いしたいと思いますが、お引き受けいただけますでしょうか。
(委員)	はい、お受けします。
(事務局)	それでは、議長につきましては、委員長が当たることになっておりますので、早速でございますが、委員長には議長席へお願いいたします。 それでは、議長の六車さん、一言お願いいたします。
(議長)	議長として会を進めていきたいと思っております。この会の円滑な運営についてご協力をよろしく申し上げます。 議題になります。1番の計画策定スケジュールについて、事務局の方から説明をお願いします。
(事務局)	(事務局説明 議題1)
(議長)	事務局からの説明について、何かご質問、ご意見がありましたらよろしく申し上げます。
(委員)	(質問・意見等なし)
(議長)	特にないようでしたら、次の議題に移りたいと思っております。
(事務局)	(事務局説明 議題2)
(議長)	ただ今の説明についてご意見、ご質問がございましたらよろしく申し上げます。
(委員)	さぬき市に47も事業所はないと思いますが、香川県全体ですか。支援等の動向を知ることも大事だと思いますが、さぬき市の障害者計画であれば、さぬき市の事業所をどうしたらよくいくかが一点です。 もう一点は、最初のスケジュール説明にもありましたが、事業所へのアンケートの後に、障害者本人や家族へのアンケートもあるのでしょうか。
(議長)	まず1つ目は、今回のアンケートはどの事業所を対象に実施したのか、2つ目は本人、家族へのアンケートを実施するかということですが、事務局の方をお願いします。
(事務局)	まず一つ目の質問ですが、さぬき市在住の方が利用されている事業所へアンケートをお願いしていますので、さぬき市以外の事業所も対象となっています。2つ目の質問ですが、本日、家族会の方、障害者団体の方にヒアリングをさせていただく予定です。
(委員)	一点目ですが、さぬき市内の全ての事業所と、さぬき市の方が利用されている事業所に送っているわけですね。
(事務局)	市内利用者があるところですので、さぬき市内の事業所にあたっては、

	<p>皆さん行かれているという前提でご理解いただけたらと思います。それと、高松であったり、坂出であったり、さぬき市の方が利用されている事業所に対してアンケートを依頼しています。</p>
(委員)	<p>今日、主にはこのアンケートの結果から見えてくる実態を元に、この場で質問をしたりしながら共有するのか、それとも、アンケートから見えてくる課題や、計画に反映させること等の意見をまとめていくのが趣旨なのか。アンケートのお話からまず始まっていたので、単純なアンケートの質疑というので良いのか。</p>
(事務局)	<p>今日はアンケートの報告をさせていただきました。第2回目の時には、素案を提示する予定です。本日は、皆さんお気づきになった点があればご意見をいただければ、素案を作成するにあたって、ぜひ活用したいと思います。今日ご意見がいただけるのであれば、皆さんの意見を反映したいと思いますのでよろしくお願いします。</p>
(委員)	<p>この統計のまとめ方が、なかなか理解が難しく、下表の母数が異なっているのでもわかりにくいと思います。</p> <p>まず一点、事業所の対象となる方、その他0となっておりますが、後半の方では対象者が、その他が4とか出てきます。その他というのはどういったものなのか。例えば3ページで下表の項目の母数というのは、いわゆる有効回答数が、母数としてもその設問によって変動していると理解していたら良いですか。</p>
(事務局)	<p>はい、そうです。</p>
(委員)	<p>わかりました。ちなみにその他は何でしょうか。</p>
(事務局)	<p>データの方を確認させていただきますので、お時間をいただけたらと思います。この時間内でわかればご報告させていただきます。</p>
(委員)	<p>7ページの外国人の検討というところですが、外国の方の人材は実はあるけれど、事業所側が外国の方を雇用するというような部分に関して、マッチしていないというところをお聞きになっていたのか。そもそも外国の人材路が実はあるという情報や、そもそもないけれども外国の方を雇用されているかどうかをお聞きされているのか。マッチングがこの先1つの課題かというところで聞かれているのか。そこに興味があります。</p> <p>20ページで、サービスの5年間の動向というところですが、変わらないが1番多いというような結果が出ているかと思います。その前後で質問されている部分で気になったのが、利用者の数が増えているとか、減っているというのが、そもそも事業所からしたら変わらないが1番多いかもしれないですが、ある事業所では増えていると回答されています。</p>

	<p>この変動というのが、全体的にそのサービスの利用者数が増加しているけれども、事業所数の変化がないから不足してきているという見方ができるのか。事業所数が減ってきているのが課題というところが見えてくるのか。その辺りの、事業所数自体も変化しているのかというデータがあったら見やすいと思いました。</p> <p>24 ページです。この地域生活への移行についての質問です。この支給決定者のうち退所された方というのは、さぬき市の方で支給決定されている施設入所からの退所という理解でよいのでしょうか。障害福祉サービスの施設入所支援というサービスを利用されていた方が、退所された方の人数を年度毎に記されているのか、主語のところが分かりにくいです。</p>
(事務局)	<p>外国人雇用の状況についてという設問の趣旨があったかと思います。実際、外国人の方を雇用している事業所はあります。ただ、それがたくさんあるかという、そうではありません。ご質問の通り、事業所として体制が整ってない場合もありますし、日本人の方の人材不足も今後は見込まれます。人材として外国人の方を迎え入れてでも、人材不足を解消したいというご意向があるのかどうかをお伺いしたいことではあります。そしてそれが、雇用したいけれども受け入れ体制として難しいという場合に、もしそういう需要が多いのであれば、今後、さぬき市としても考えていかなければいけない問題ではあるのかというような意味合いも兼ねて、お伺いをさせていただいております。</p>
(委員)	<p>そういうところで仕事したい、してみてもいいなとか、そういう勉強をされた外国の方が結構いららっしゃるみたいなデータではない。</p>
(事務局)	<p>そうですね。いわゆる、海外から来られる方は、そういう勉強をされて来られる方もいます。そういう方をお集めになった、派遣会社と言いましょうか、そこから雇用されてくる方も県内ではいるみたいですが。例えば事業所として雇用される場合、雇用してみてもいいなと思われているのかどうかということもお伺いしたかったことです。</p>
(委員)	<p>まずは、事業所側の受け入れがどうかと。</p>
(事務局)	<p>そうですね。意向があるかどうか。そして、その方が増えてきた場合に、もしかすればさぬき市としても、支援が必要なのかどうかということ、検討したいという思いもあります。</p>
(事務局)	<p>20 ページの事業所数が増えているのかどうかというご質問があったかと思います。この5年間の利用者の動向は、事業所側が受け入れた人が増えているかどうかをお伺いしております。実際、事業所が増えたかどうかは、全て把握しているわけではないので現状、増減をお伝える</p>

	<p>ことはできないですが、この5年間の利用者の動向というのは、事業所側がどう思っているかということでお伺いしております。</p> <p>24ページの地域生活への移行については、退所された方の人数について、年度ごとにご記入くださいということです。最近の障害者施策は、施設等を利用されている方を、なるべくお家の方で、地域で生活していくようにというような政策を展開しております。基本的に移行先が、自宅、グループホーム、アパートなどという風になっています。施設入所者が施設を退所しますという時に、次の行き先はどこですかというような意味合いの質問です。その中で、自宅へ帰られた方が、令和3年度には13人いました。令和4年度には2人いましたというような状況になっております。そして、その他と書いているところは、同じような施設、他施設への移行とか、特養に入られました、他施設への入所という方の状況になっております。</p>
(委員)	<p>ちなみに最後の地域移行のところですが、例えば施設に入所されていた方が、この先、施設以外のところへ、地域に帰っていかれたか、年度毎とかでも、もしわかればですが、実際、支給決定者で施設入所支援が出ている市内の全体の数というのは、データとしてありますか。どれくらいの人数に対して毎年これくらいの地域移行の方が出ているのかというのを。</p>
(事務局)	<p>現状では把握できていない状況でして、今後調査ができるようであれば調べていきたいと思えます。</p>
(委員)	<p>地域生活への移行について、元々何人くらいなのかが分からないので教えていただきたい。支給決定はどういった方が対象として受けられているのか。</p>
(事務局)	<p>さぬき市で支給決定を受けている方で施設入所している方です。</p>
(委員)	<p>全体の人数は？</p>
(事務局)	<p>今すぐは答えられないので、調べます。</p>
(議長)	<p>このアンケートは修正が多いので、もう一度出し直していただけますか。修正をして委員へ郵送で届くということでご確認をお願いできたらと思えます。</p>
(委員)	<p>精神障害者の方が結構いると思えます。前回の資料を見ても、手帳を所持している人が300人ぐらいだと思います。自立支援の申請をしている人の数字が結構多いです。こちらのアンケート結果を見ても、施設利用者の方の状況は見えてきますが、自立支援とか在宅でいる人がどうしているのか。保健所の会議に参加していますが、お勤めの方や家族の方とは繋がる機会がありません。私たちの会は高齢者がほ</p>

<p>(委 員)</p>	<p>とんどで、親が 65 歳以上です。</p> <p>アンケート結果も、事業所のアンケート調査では、参加している人の感じとしては読み取れますが、家庭でどうしているというのは全然わかりません。可能であれば在宅生活している人でアンケートがあればいいと思います。</p> <p>多分、自立しても地域の人となかなか溶け込めない性格の方は、そう言った事業所へ依頼をしないと、きっと生活できないと思います。この考えを正確に入れていただけたらありがたいと思います。</p> <p>今後、その事業所に通っている方も、事業所調査でわかると思いますが、どこにも行ってない方の調査をして計画に入れるというところはあるのでしょうか。</p> <p>障害者計画を作るのであれば、1 番大事なのは、本人あるいは家族の意見が多く入らないといけないと思います。事業所の取組や行政から事業所への働きかけも 1 つの大事な要素になります。そういう意味で、障害者へのアンケートの有無をお聞きしました。その後、ヒアリングがあるということですが、私は、会員全員と話をしたことありませんし、全員の顔もなかなか把握できていません。役員と話をし、それぞれ困ったこと等を聞くことは可能ですが、私の意見はその知的障害者全員の意見じゃないです。</p> <p>市から、我々の育成会に補助金をいただいておりますが、その補助金も、会だけにとは思っておりません。さぬき市の地域障害者の方全員のためと考えております。行事をする際も広く周知しております。あとヒアリングだけでお話を聞かれても部分です。その部分だけでは障害者全体の意見を把握したということにはならないのではないのでしょうか。皆さんの意見を幅広く聞いていただくことが本当の意味での障害者計画に繋がるのではと思います。</p>
<p>(議 長)</p>	<p>事務局、どうでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>今年度、別の調査ではありましたが、ある地域におきまして、生活のしづらさ調査を実施させていただきました。その対象者は、障害のある方が対象です。その調査が重複するということも考えて、今回、事業所にアンケートを送らせていただきました。</p> <p>しかしながら、ご意見をいただいたように、利用者と障害のある方、本人の声が全部届くわけではありません。本日はヒアリングをさせていただきましたが、今後、この計画に反映できるかどうかはまだ検討するところはございますが、時間をいただいて、させていただいたらと思います。</p>

<p>(委員)</p>	<p>16 ページで、地域移行地域定着の所がゼロになっているのに、20 ページの 5 年間の利用者数の動向では変わらず 100%になっています。数的なところ教えてください。そして地域移行地域定着は、現に 5 年間出していないという認識で大丈夫ですか。この 24 ページで地域生活についてでは、令和 3 年度に 13 人となっていますが、これは地域移行を利用しているのか教えていただきたいです。</p> <p>全くこの 5 年間の実績が出ていないのか。入所からの移行というのは、全くサービスを使わずに移行していったのかということをお教えいただきたいです。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>以前に 1 件あったと聞いています。今おっしゃられたように、施設の回答としては 0 となっているので、違いはありますが、件数的には 1 件あったということです。</p>
<p>(委員)</p>	<p>平均人数というのは 13 ページですよ。ぱっと見た感じ生活介護が 11.5 人で施設入所支援 9.6 人、就労継続支援 B 型と短期入所の利用人数が 6.7 で一緒というのが、私としても支援をしていく中で、あまりにも現実感との差がありすぎます。実際に生活介護とか B 型の利用者の人数というのは多いのですが、短期入所が 6.7 と多いというのが現実的に多く取り上がっているところもあって、どういうところでこういうニーズが出てきたのかと思っています。</p> <p>実際に社会福祉で支援をしていく中で、短期入所の方の社会支援が少ないというのは現実的に感じているところではあるので、この辺りが、なんでこういう人数なのでしょう。施設入所支援の方で、確かに定員数が多いので、利用者としては多いのはわかります。在宅での生活をされている方が利用するにあたって、本当にその施設入所支援の人数の多さに応じて必要ということが本当に第一で考えるべきなのかということが、このアンケートの表記方法も、考えてみてもいいかという気はします。</p> <p>やはり、このアンケートというのはこの地域をよりよくするためのアンケートなので、企業の現状がきちんと出ていると思います。それは確かに必要なもので、良くするためには何が必要かと、実際に事業所の方が現状をどう探してきているのか、この差をどうしていくのかということが 1 番必要だと思います。</p> <p>支援をしていく中で、社会支援をするのかということのはすごく不安を感じるところもありますので、本当に社会支援を中心にして考えたアンケートに戻ってもいいのかと思ったりします。確かに事業所に市内の地域で通ってらっしゃる利用者もかなり多いですが、三木とか、東かがわ市</p>

<p>(事務局)</p>	<p>あたりで行かれる方も結構多いと思います。高松や西の事業所を入れてしまうと、さぬき市の地域というのが見つらくなるのではと思います。その辺も考えて表記方法をしてもいいかと思いました。</p> <p>表記に関しましては、もう少し検討をさせていただきたいと思いません。よろしく願いいたします。</p> <p>さぬき市で支給決定している利用者数は、毎月 80 件程度あります。正確な数値は調査しまして報告させていただきます。新しく修正したアンケート、そして今日ご質問いただいたものを Q & A にして、後日皆様へ送らせていただきたいと思います。</p>
<p>(議 長)</p>	<p>アンケート調査についての質問は終わりたいと思います。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>(事務局説明 議題 3)</p>
	<p>次回開催予定は 12 月 8 日金曜日 13 時 30 分、同じ場所、3 階、301、302 会議室で行います。</p>
<p>(議 長)</p>	<p>それでは、以上を持ちまして本日の委員会を終了いたします。ご協力、誠にありがとうございました。</p>